

知って
いますか？



利根大堰付近での取組み



『利根大堰』（武蔵大橋）周辺の河川敷には、**広大な自然の草原（ヨシ原・オギ原）**が広がっており、かつて生きものの宝庫だった湧水地が「たまり池」として残されています。これらの自然は、**多くの野生の生きものの生息・生育空間**であり、**人にとっても良好な景観と癒しをもたらす空間**となっています。

すこし前までは、河川敷に多くの車両が侵入、道以外の場所を走行することによって、生きものの生息・生育環境が失われ、発生する砂ぼこりや騒音が周辺に生活する住民の皆さんの安全・安心・快適な暮らしの妨げとなっていました。また、長年の土砂の堆積によって利根川の流れの中心が偏り、治水上の対策も求められています。

そのため、2016年度より、これらの課題を解決するため、行政や関係団体等の協力のもとで検討・合意をはかりながら、**下記エリアへの車両の侵入抑止対策**、**たまり池の保全対策**を、**河川敷の掘削による治水上の安全性の向上・湿地再生**とあわせて進めています。（下図参照）

掘削工事に伴う工事車両の出入り、立入り規制もありますが、安全な工事の実施および自然環境の保全・整備について、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。



利根大堰周辺の治水と環境検討会

『利根大堰』周辺では、関係団体・機関の協力のもとで、治水と環境が共存する川づくりについて検討と取組みを進めています。

<検討会メンバー>

NPO法人 熊谷の環境を考える連絡協議会／NOP法人 ふるさと創生クラブ
全国環境保護連盟／NPO法人 行田ナチュラリストネットワーク
群馬県千代田町／群馬県明和町／埼玉県行田市
水資源機構利根導水総合事業所
国土交通省 利根川上流河川事務所

検討会HP





利根大堰周辺における 治水と湿地再生の取組みの概要



堰直下の進入防止柵



堤防の法面に設置した柵



徒歩用の水辺への階段

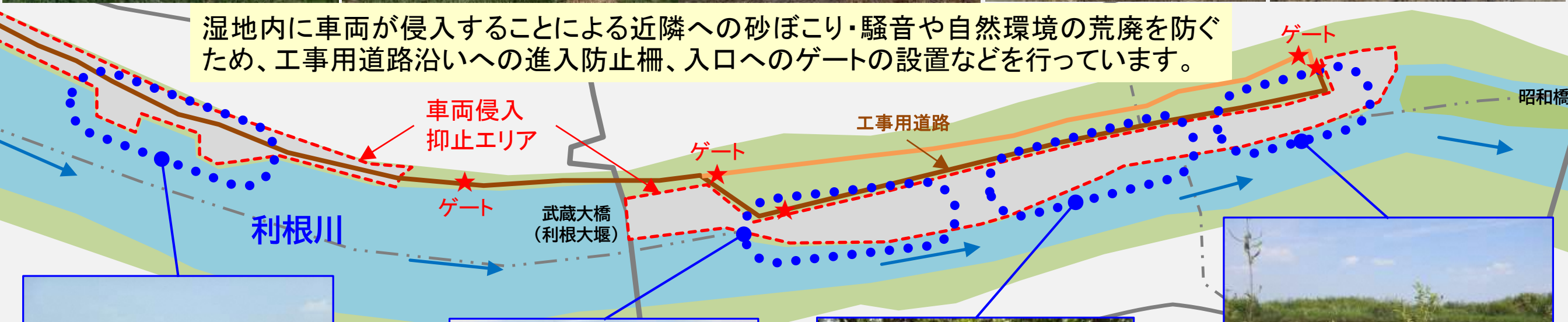


工事用道路沿いの柵



工事用道路のゲート

湿地内に車両が侵入することによる近隣への砂ぼこり・騒音や自然環境の荒廃を防ぐため、工事用道路沿いへの進入防止柵、入口へのゲートの設置などを行っています。



堰上流側の湿地



上流域ゾーン



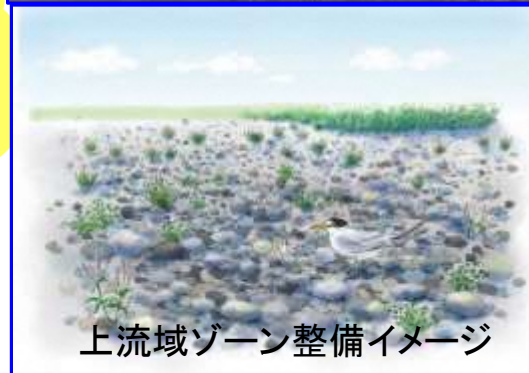
中流域ゾーン【たまり池】



下流域ゾーン【だるま池】



下流域ゾーン整備イメージ



上流域ゾーン整備イメージ



中流域ゾーン整備イメージ

川の流下能力を高めたり堤防を整備するための土砂を採取する治水の事業に加え、**湿地の保全・整備**に配慮して実施しています！



※あくまでイメージです。現場の状況にあわせて形状等変更する場合があります。

利根大堰付近で確認されている生きものたち



たえず変化する河川敷の湿地環境が重要な生息・生育環境となっています

樹林、丈の低い草地、広大なヨシ・オギ原、砂礫河原、たまり池など多様な環境があり、時に洪水によってかく乱され、環境がリセットされることによって、湿地環境が保たれます。治水にとっても重要な「氾濫原」となるこうした環境は、湿地を生息環境として利用する多くの生きものの生息・生育を支えています。



コウノトリ



足跡



イノシシ オイカワ

ドジョウ

ドブガイ



カッコウ



マムシ



たまり池の中を歩くニホンジカ



カヤネズミの巣



ギンヤンマ(ヤゴ)



モツゴ



ヒバリ



アジアイトトンボ



ホンドタヌキの親子



ニホンアカガエル



コアジサシ



オオヨシキリ



カブトムシ



アカネズミ



キンクロハジロ



オオタカ



ショウジョウトンボ



ホオジロ



コムラサキ



オギ原



ミゾコウジュ



利根大堰周辺での取組みは、国際的な達成目標であるSDGsの目標達成にも貢献する取組です。